

「2020 北九州 SDGs 未来都市アワード」

応募用紙

1 団体情報

団 体 名	(フリガナ) フクオカヒビキシンヨウキンコ
	福岡ひびき信用金庫
活 動 名	「ひびしん地元企業就職応援事業」
ウ ェ ブ サ イ ト	https://www.fukuokahibiki.co.jp/
団 体 の 区 分	<input type="checkbox"/> 小学校・中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校等 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 一般(市民団体・NPO等) <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> その他()
団 体 の 概 要	団体の概要を記載してください。 (設立年: 1924年1月15日) 事業内容: 預金・融資・為替等金融事業全般を取り扱う協同組織金融機関 従業者数: 636人
SDGs の 17 ゴールのうち、取り組んでいるゴール (複数選択可)	※SDGs は、募集要項(P.4)及び以下の国連広報センター等の HP をご参照ください。 http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/ ゴール番号3、4、5、8、9、11、12、14、15、17

※この審査書類は、投票のため、北九州ESD協議会会員及び北九州 SDGs クラブ会員にも配布しますが、P.5 及び P.6 の同意書は、削除して配布します。

2 活動概要シート

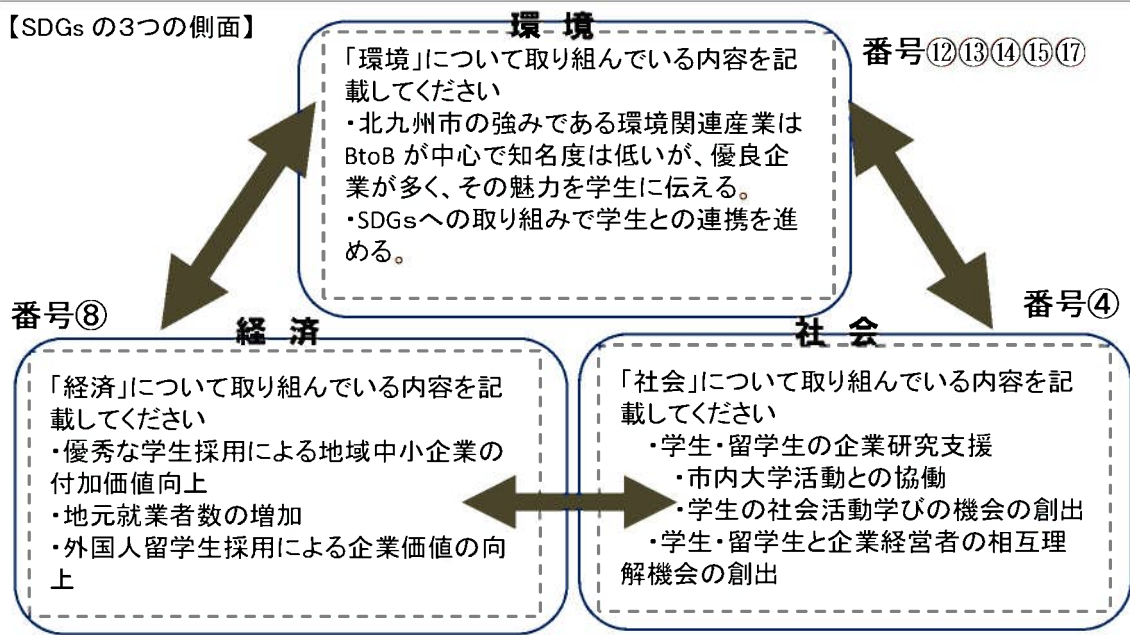
(1)活動概要(活動の目的と内容を簡潔に書いてください。【300字以内】)

地元大学生・高校生の地元中小企業に対する認知度が低いことに加え、中小企業の情報発信力が弱いことから地元企業への就職・定着が進まないことが地域の課題である。そこで、地域の学生・外国人留学生向けに地元中小企業紹介のイベントを開催、学生の地元中小企業の認知、理解を深める。双方をマッチングする交流会等を主催し、相互理解を深め地元就業者数増加を図り、最終的に北九州市の生産年齢人口・定住人口増加を図ることで地域の活性化を目指す。

(2)SDGs との関連性①

「環境」「経済」「社会」等、複数の課題を視野に入れて活動をしていますか。それぞれの課題にどう取り組んでいるのか、「環境」「経済」「社会」に分けて取り組み内容を図中に記載してください。

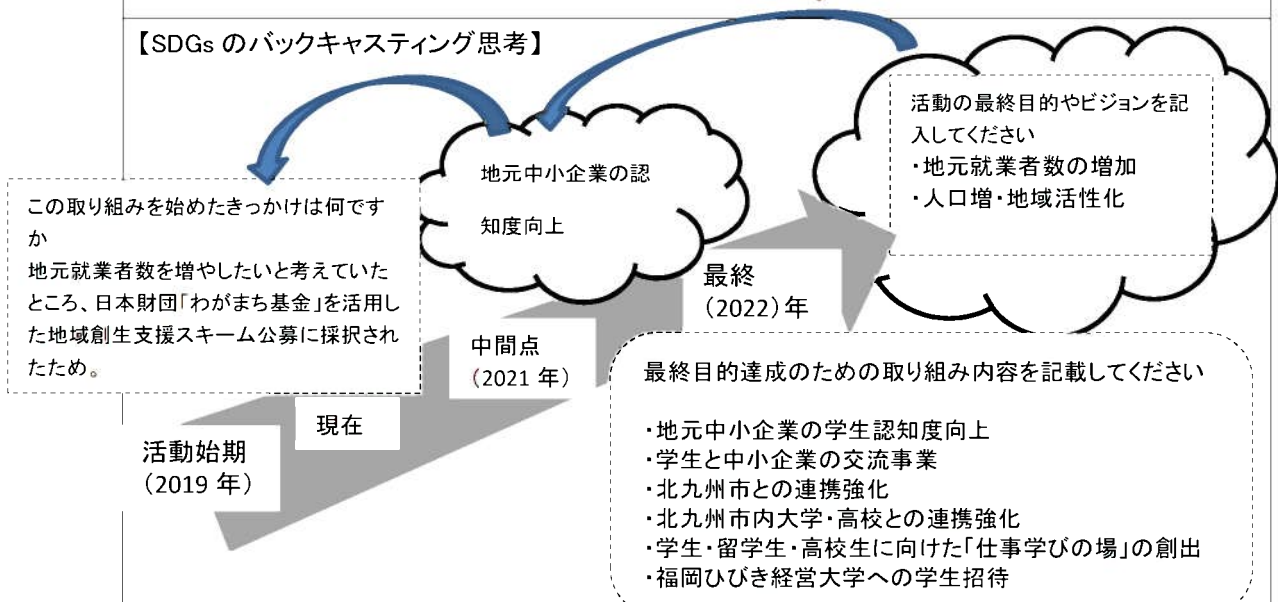
【SDGs の3つの側面】



(3)SDGs との関連性②

取り組む課題や目的を明確にして、それに向かってどのように取り組んでいるか、図中の枠内に課題や目的、取り組み内容、スケジュール等を記入してください。

【SDGs のバックカスティング思考】



3 活動の詳細および自己評価

(1)協働

他の団体・組織等と協働(*)していますか。協働している団体・組織等と、それぞれがどのような役割をもって共に活動しているのか、具体的に記載してください。(400字以内)

* 協働:複数の主体が、同じ目標をもってともに力を合わせて活動すること

福岡ひびき信用金庫が呼びかけ、これまで北九州市、市内2大学、北九州商工会議所、当金庫若手経営者の会(ひびしんニューリーダー会)、福岡県留学生サポートセンター運営協議会と協働した。

<セミナーの開催>

○北九州市、北九州商工会議所とは地元企業のWEBを活用した採用活動セミナー、学生向けのWEB面接セミナーの講師派遣で協力。

<企業研究の機会創出>

○北九州市立大学、九州国際大学とは2019年11月、マリンメッセで開催の「しんきん合同商談会」参加ツアーの実施。北九州市立大学は学生による出展企業インタビューに参加してもらい、企業研究の機会提供。

<留学生のサポート>

○福岡県留学生サポートセンター運営協議会とは上記「しんきん合同商談会」への留学生招待で協働した。

<交流事業の開催>

○ひびしんニューリーダー会では、北九州市立大学地域共生教育センター学生と中小企業経営者との交流会を実施。

(2)意識や行動の変化

「持続可能な社会」の実現のため、活動を通して、どのような学び合いや教育、人材育成ができましたか。活動に関わった人々の価値観や行動、地域や社会にどのような変化をもたらすことができましたか。また、他の活動にどのような波及効果をもたらすことが期待できますか。それぞれ具体的に記載してください。(400字以内)

本事業で企業インタビューに参加した北九州市立大学の学生からは、「中小企業には様々な業種があり、魅力的な企業も多かった」との感想を得た。ひびしんニューリーダー会との交流会に参加した学生からは、「経営者と直接話す機会が出来て良かった、勉強になった」との感想を得た。また、若手経営者からは、「最近の大学生はよく勉強しており、刺激を受けた。地元の大学生をぜひ採用したいと思った」との前向きな感想を得ている。この交流会後も、学生が知り合った経営者を訪問し、自分たちのボランティア活動への協力を直接依頼するなど交流が続いている。このように相互理解を深めることで、地元就職への機運が高まりつつあり、取り組みを継続していきたい。

(3)これまでに受けた評価

活動が、これまでに第三者から評価を受けたことがある場合は、記載してください。

「ひびしん地元企業就職応援事業」は「日本財団『わがまち基金』を活用した地域創生支援スキーム
2019年一次公募に諮問機関の審査を経て採択された。

4 添付資料

(1)A4片面5ページ以内の資料を添付できます。添付する場合は、資料のタイトルを記載してください。
なお、データでご提出の場合は、データ容量を5MB以内としてください。

(2)活動概要が分かるウェブページや動画がある場合は、そのタイトルとURLを記載してください。(3つまで可。)

(1)添付資料(該当する方を○で囲ってください) ⇒ 有 5ページ ・ 無

資料のタイトル

- ①ニュースリリース1ページ(PDF)
- ②活動実績写真3ページ(PDF)
- ③募集チラシ1ページ(PDF)

(2)活動概要が分かるウェブページや動画等のタイトルとURL

- ①
- ②
- ③